

## 2．流域及び河川の自然環境





### 2 - 1 流域の自然環境

番匠川は、その源を大分県南海部郡本匠村の三国峠に発し、急峻で屈曲の多い溪谷を流下し、途中久留須川、井崎川等を含わせながら東に流れ、山間部を抜けて、ゆるやかに蛇行して佐伯市に至り、さらに堅田川を合わせて佐伯湾に注いでいる。

源流から<sup>やよい</sup>弥生町に至る上流部は、石灰岩が露頭した山地に広がるアラカシ林によって、岩と照葉樹林が調和した自然景観が見られる。その流れは石灰岩等の岩盤を侵食して流れ、清流を好むゲンジボタル、カジカガエルや土の崖を巣とするカワセミやヤマセミなどが生息している。また、山間の樹林に囲まれた支川にはムカシトンボなどが生息している。

中流部の弥生町から佐伯市にかけては、瀬や淵が交互に現れ変化に富んだ流れを呈しており、一部の区間において伏流現象がみられるところがある。流水部には番匠川を代表するアユ、オイカワ、ヨシノボリ類などが生息しており、河岸にはエノキやホテイチクなどの河畔林が見られる。また、川原にはツルヨシが繁茂しサナエ類などの昆虫類が多く生息するとともに、高水敷に広がる湿地帯にはタコノアシなどの貴重な植物が生息するなど、多種多様な生息・生育環境が保たれている。特に<sup>いながき</sup>稲垣橋から<sup>たかはた</sup>高畠堰にかけては貴重な水産資源であるアユの産卵場を保護するため、水産資源保護法に基づく保護水面に指定されている。

大分県南地域の中心となる佐伯市を流下する下流部は、水際にヨシ群落が生息し、オオヨシキリなどの生息の場となっている。さらに河口付近の干潟にはハマボウ群落が生息し、水面にはマガモやヒドリガモ、カワウなどが生息している。また、<sup>あじろざき</sup>網代笹を背にして行うシロウオ漁での漁夫の姿やかぎ針のついた竹竿でアユをかけてとるチョンガケ漁は番匠川の風物詩となっている。

	下流域番匠川本川(直轄管理区間)
	中流域番匠川本川(直轄管理区間)
	上流域番匠川本川(直轄管理区間)
	支川(直轄管理区間)

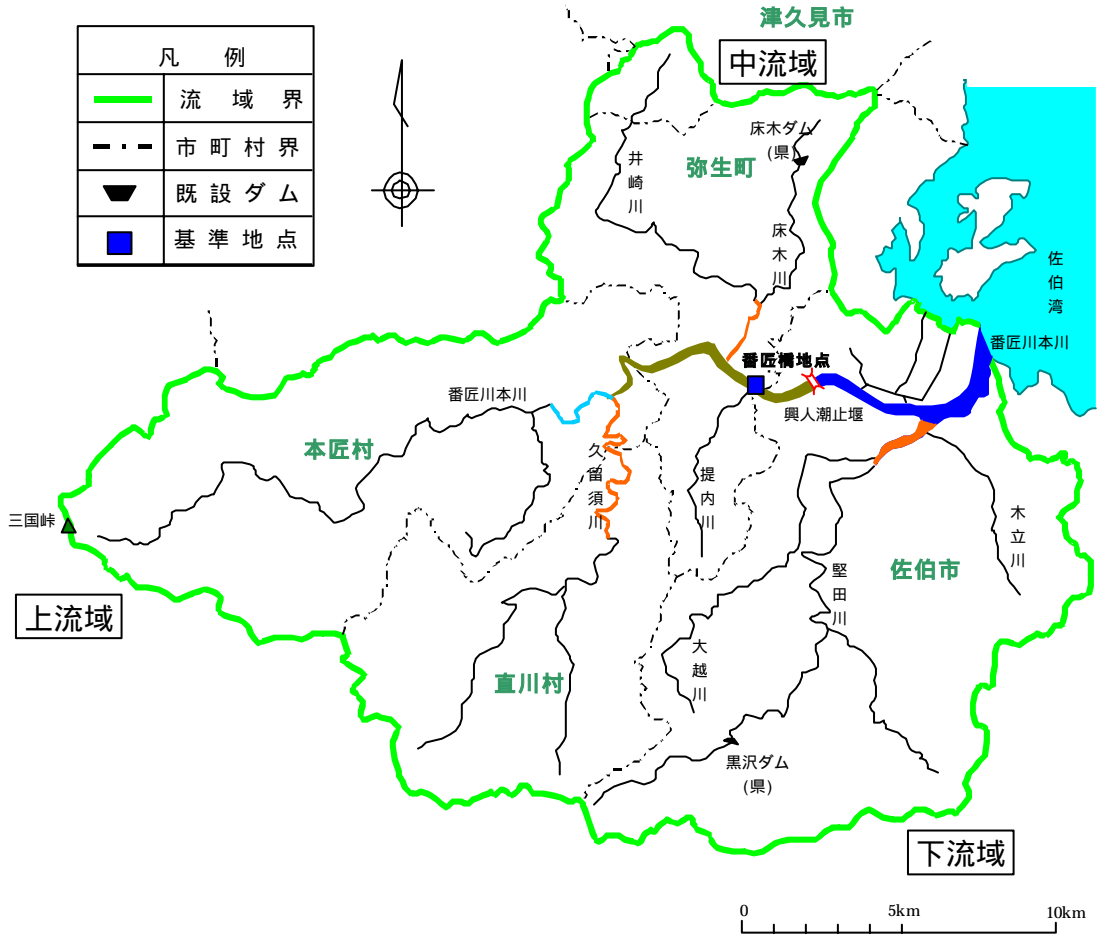
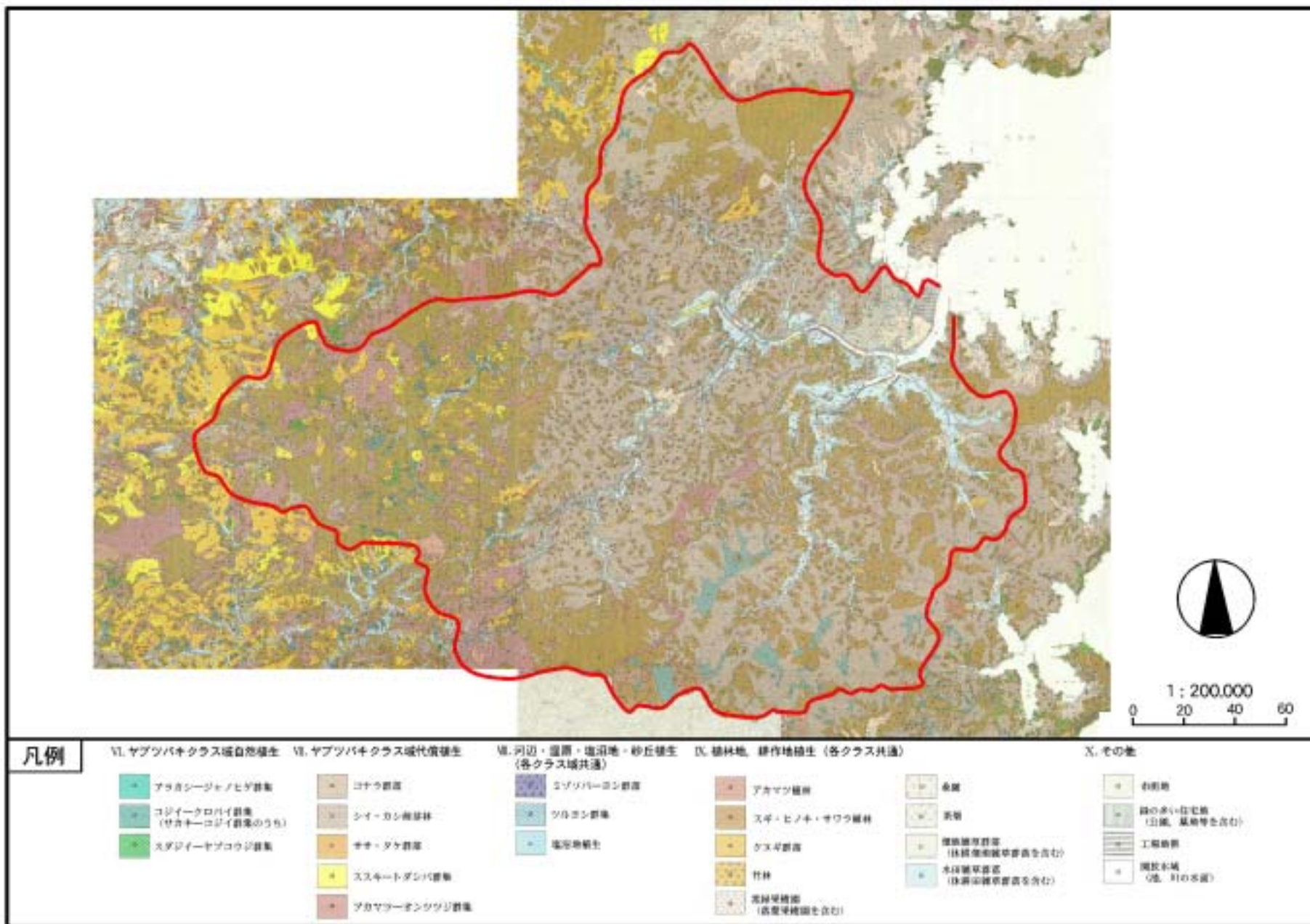


図 2 - 1 番匠川上・中・下流区域図

図 2 - 2 番匠川流域の植生図



出典：第3回自然環境保全基礎調査（植生調査）昭和60年

## 2 - 2 河川の自然環境

### 1) 上流部

上流部では、河道内にはツルヨシ群落、河岸にはアラカシ、ホテイチク、エノキなどの河畔林が広く生育している。

河床は礫、玉石などからなり、清流や溪流を好むゲンジボタル、カジカガエル、タゴガエル、ムカシトンボが生息している。魚類では、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ類、ギンブナ、ドンコなどが生息している。鳥類では、土の崖を巣とするカワセミやヤマセミ、サンショウクイなどが確認されている。



番匠川  
(直轄上流端付近)

### 番匠川(直轄上流端付近の近景)

- ・河岸は崖状の箇所が多く見られる。
- ・瀬・淵が連続して形成されている。
- ・河岸にはアラカシ林が帯状に分布する。
- ・河道内は礫や玉石等が見られる。



出典：佐伯河川国道事務所





**アラカシ【ブナ科】**

高木の常緑樹で高さが10~20mに達し、やや楕円形のドングリが実る。番匠川水系では本川の中流域から上流域、久留須川の河岸に河畔林として帯状に分布する。また、猛禽類からの避難場となり、実は鳥類の餌となる。  
出典：河川水辺の国勢調査



**ゲンジボタル【ホタル科】**

本州、四国、九州に分布し、日本特産種である。「緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種、「日本の重要な昆虫類」における指標昆虫及び特定昆虫に指定されている。番匠川水系では比較的普通にみられる種である。出典：カメラのケンコー



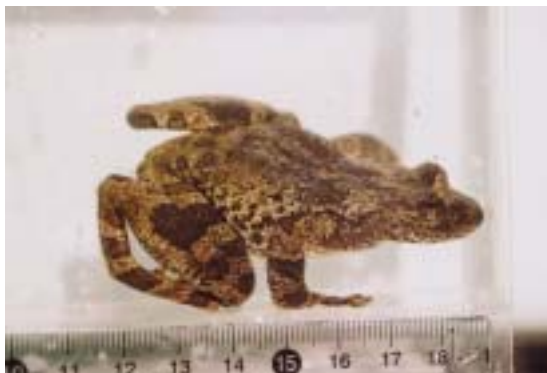
**ムカシトンボ【ムカシトンボ科】**

日本特産種で中生代に栄えたトンボの一群でいわれる「生きていた化石」と呼ばれ、山間の樹林に囲まれた溪流に生息する。「緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種、「日本の重要な昆虫類」における指標昆虫及び特定昆虫に指定されている。番匠川水系では久留須川に生息する。  
出典：佐藤真一氏



**タゴガエル【アカガエル科】**

本州、四国、九州に分布する日本固有種である。木のよく茂った溪流沿いの森林内で生活。「緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種である。番匠川水系では久留須川に生息する。出典：佐藤真一氏



**カジカガエル【アオガエル科】**

本州、四国、九州に分布する日本固有種である。山地の溪流や水のきれいな川の上流など湿気のあるところに生息する。「緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種である。番匠川水系では本川の中流域から上流域、久留須川に生息する。  
出典：河川水辺の国勢調査



**カワムツ【コイ科】**

河川の上・中流域を中心に普通に見られ、特に流れの緩やかな淵に多く生息する。番匠川水系では淡水域のほぼ全域に生息する。  
出典：河川水辺の国勢調査



**ギンブナ【コイ科】**

ほぼ日本全土に分布し、河川の下流域の淀み部分や湖沼で普通に見られる。番匠川水系では本川の上流域、久留須川に生息する。



**ドンコ【ハゼ科】**

ほぼ日本全土に分布し、河川の下流域の淀み部分や湖沼で普通に見られる。番匠川水系では本川の上流域、久留須川に生息する。



**サンショウクイ【サンショウクイ科】**

春に渡来し、主に低山帯で繁殖する。番匠川水系では本川の上流域、久留須川で確認されている。



**ヤマセミ【カワセミ科】**

山地の谷川に沿って生息し、警戒心が強く常に清流に住む。番匠川水系では本川の中流域から上流域、久留須川で確認されている。



**カワセミ【カワセミ科】**

池畔や河畔に生息し、粘土や砂層の土手の穴に産卵する。番匠川水系では河口周辺を除く全域で確認されている。

出典：河川水辺の国勢調査

## 2) 中流部

中流部の河道には、瀬、淵、ワンド、河原等が分布し、多様な生息・生育環境を形成している。

河道内にはツルヨシ、ヤハズソウ、オギなどが群落で広く分布し、水際部ではセキシヨウモ、コアマモ、タコノアシが生育するなど、植生も多様である。河岸にはアラカシ、ホテイチク、メダケの河畔林が生育し、エノキ、ムクノキなどの高木林も点在している。河床は砂や礫などからなり、水際部ではサナエトンボ類、ゲンジボタル、カワニナが生息し、魚類ではアユ、カマツカ、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ類などが生息し、稲垣橋から興人潮止堰の間はアユの産卵場などのために保護水面に指定されている。鳥類では、ミサゴ、ウグイス、セッカ、オオヨシキリ、ホオジロなどが確認されている。また、カヤネズミ、テンなどの哺乳類も確認されている。



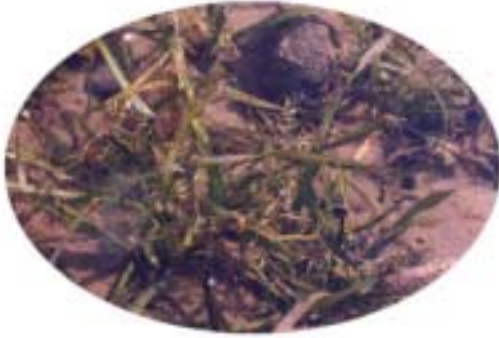
番匠川  
おにがせ かざと  
(鬼ヶ瀬橋・風戸大橋付近)

番匠川(檜野橋付近)  
・ワンドが形成され、多様な動植物が生息・生育している。



出典：佐伯河川国道事務所





**セキシヨウモ【トチカガミ科】**

低地の河川や水溝に生育する水生植物である。番匠川水系では本川の中流域、堅田川に分布する。



**タコノアシ【ベンケイソウ科】**

低地や丘陵地の水溝や湿地、河川敷のヨシ原周辺に生育する。番匠川水系では本川の中流域に小規模な群落で分布する。



**オニグルミ【クルミ科】**

山野の川沿いに生え、高さ約 25m になる落葉高木である。番匠川水系では本川の中流域に分布する。



**キイロサナエ【サナエトンボ科】**

日本固有種で溪流や低山地の緩流に生息するが少ない。「日本の重要な昆虫類」における指標昆虫及び特定昆虫に指定されている。番匠川水系では本川の中流域から上流域に分布する。



**イシガメ【ヌマガメ科】**

日本固有種で本州、四国、九州に分布する。平地から低山地にかけての河川、丘陵地にある池などに生息する。番匠川水系では本川の中流域で確認されている。



**オイカワ【コイ科】**

岩場、砂底などあらゆる沿岸帯に生息し、行動範囲が広く、瀬を最も好む傾向にある。番匠川水系では淡水域のほぼ全域に生息する。

出典：河川水辺の国勢調査





**アユ【アユ科】**

河川に遡上したアユは中流から上流域の大石や岸壁にある瀬に縄張りを形成し定着する回遊魚である。番匠川水系ではほぼ全域に生息する。



**カマツカ【コイ科】**

河川の上・中流域を中心に砂礫底の場所に住む典型的な底魚である。番匠川水系では本川の中流域から上流域、井崎川に生息する。



**ミサゴ【ワシタカ科】**

海岸、湖畔、河畔などに生息する。番匠川水系ではほぼ全域でよく確認される。



**カヤネズミ【ネズミ科】**

世界のネズミ類の中で最も小型のグループであり、低地の草地、水田、畑などのイネ科植物が密生して水気のあるところに多い。番匠川水系では本川の中流域で確認されている。



**テン【イタチ科】**

樹上空間を多く利用するため森林を生息地とするが、樹林があれば人家用地にも見られる。番匠川水系では本川の中流域で確認されている。

出典：河川水辺の国勢調査

### 3) 下流部

河口より 6.8km 付近（興人潮止堰）までが感潮区間となっており、河口部には干潟が形成されている。

河道内にはツルヨシ、ヤハズソウなどが群落で分布し、河口部の干潟には砂丘性植物のハマヒルガオ、塩性湿地植物のハママツナ、ハマボウ、フクドが群落で生育している。

河床は砂や砂利などからなり、アリアケモドキ、ハマグリ、ハザクラガイなどの貝類、フジツボ類、ヨコエビ類、カニ類などが生息し、魚類ではアユ、シロウオ、スズギ、セスジボラなどが生息している。鳥類では、ヒドリガモ、マガモ、ヨシガモ等のカモ類の越冬地となっており、ヨシ原に依存するオオヨシキリやセッカ、チュウサギ、カワウなどが確認され、野鳥観察などの環境学習の場として利用されている。また、アカネズミなどの哺乳類も確認されている。



番匠川  
（興人潮止堰下流）

#### 番匠川（堅田川合流付近）

- ・干潟が形成され、水塊の栄養素を捕捉しやすい条件を具えるなど生産性が高い。
- ・塩性湿地植物、砂丘性植物が生育している。
- ・約 140 種の貝類及び甲殻類の生息が確認されている。

出典：佐伯河川国道事務所





**ハマボウ【アオイ科】**

暖かい地方の海岸べりに生育する高さ 1~2m の落葉木である。番匠川水系では河口部に群落として形成されており、下流域の重要な河川景観となっている。



**ハママツナ【アカザ科】**

干潟や海岸で見られる塩性植物である。番匠川水系では河口部に生育し、河口域を代表する種として重要な植生である。



**フクド【キク科】**

河口域の泥湿地に分布する。番匠川水系では小規模ながら群落を形成しつつあり、河口域を代表する種として重要な植生である。



**ウラギク【アカザ科】**

河口など汽水域の潮の干満によってたえず塩水をかぶるような湿地に群生する。番匠川水系では本川の下流域に分布している。



**シロウオ【ハゼ科】**

孵化とともに海に下り、遠浅でしかも波の静かな海岸のアマモ場などの中層を遊泳する。番匠川水系では本川の下流域に生息し、シロウオ漁は春を告げる風物詩となっている。



**ウグイ【コイ科】**

河川では上流から河口域までの広い範囲に生息する。番匠川水系ではほぼ全域で生息する。

出典：河川水辺の国勢調査





**スズキ【スズキ科】**

海洋の沿岸に住み、主に夏季に汽水や淡水にさかのぼる。番匠川水系では河口付近で確認される。



**ヨシガモ【ガンカモ科】**

冬季に各地に数多く渡来する。「すぐれた自然」の調査対象種であり、番匠川水系では本川の下流域、堅田川で確認される。



**カワウ【ウ科】**

粗林の高い木の上に営巣し、巣の近くの湖沼などで菜食する。番匠川水系一帯で確認される。



**チュウサギ【サギ科】**

松林や雑木林、竹やぶなどに集団で営巣する。番匠川水系では本川の下流域で確認される。



**アカネズミ【ネズミ科】**

日本固有種であり、日本全体に分布する。番匠川水系では本川の下流域で確認されている。

出典：河川水辺の国勢調査



#### 4) 番匠川の生物

##### 生物相の概要

河川水辺の国勢調査結果をもとに、各生物相の概要整理し、表2 - 1に示す。

表2 - 1 各生物相の概要

調査項目	生物相の概要
植 物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査の結果、平成3～4年の調査では357種、平成8年の調査では409種、平成13年の調査では326種が確認された。</li> <li>・上流域では河道内はツルヨシが繁茂し、崖状の河岸には、アラカシ林やホテイチク林が河畔林としてみられる。</li> <li>・中流域では、河道内は上流域同様にツルヨシが繁茂する他にヤナギ類、メダケ等が多く生育している。</li> <li>・下流域では、水際付近にヨシ、マコモ等の抽水植物群落の他河口付近では砂州がみられ、ハマボウが群落を形成している。また、周辺ではナガミノオニシバ、ハママツナ、フクドなど塩生植物も生育している。</li> </ul>
魚 類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査の結果、平成4～5年の調査では64種、平成10年調査では39種の魚類が確認された。</li> <li>・中上流域ではオイカワ、カワムツ(B型)、アユ、カマツカ等が多く生息も広く分布している。</li> <li>・下流域の感潮域では、スズキ、キチヌ、マハゼ、ボラ等の汽水・海水魚が多く生息している。</li> </ul>
底生動物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査の結果、平成5年の調査では229種、平成10年の調査では233種、平成13～14年の調査では207種が確認された。</li> <li>・中上流域では、エルモンヒラタカゲロウ、ウルマーシマトビケラ等が多く生息し、上流では清流に生息するカワガニ、ゲンジボタルが確認されている。</li> <li>・下流域では、干潟に生息するイソゴカイやユビナガホンヤドカリ、ケフサイソガニ等のカニ類が多く生息している。</li> </ul>
鳥 類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査の結果、平成6年の調査では85種、平成11年の調査で86種が確認された。</li> <li>・上流域には、ヤマセミ、カワセミ、キセキレイ等の山地・渓流性の種が多く生息している。</li> <li>・中流域には、コサギ、ゴイサギ等の水鳥やオギ・ヨシ原等に生息するオオヨシキリが生息している。</li> <li>・下流域には、カモ類、カモメ類、カワウ等の水鳥が多く生息している。</li> </ul>
両 生 類 爬 虫 類 哺 乳 類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査の結果、平成4～5年の調査では、両生類5種、爬虫類2種、哺乳類12種、平成9年の調査では両生類8種、爬虫類9種、哺乳類12種、平成13年の調査では、両生類7種、爬虫類9種、哺乳類13種が確認された。</li> <li>・流域全体に、両生類ではヌマガエル、アマガエル、爬虫類ではカナヘビ、哺乳類ではアカネズミ、イノシシ等が多く生息している。</li> <li>・上流域には、カジカガエルが生息し、テン、ホンドリカ等の森林性の哺乳類も確認されている。</li> </ul>
陸 上 類 昆 虫 類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査の結果、平成7年の調査では1013種、平成11年の調査では1087種の陸上昆虫類が確認された。</li> <li>・上流域にはコウチュウ類やチョウ類が多く、樹林地に生息するノコギリクワガタ、ワモンサビカミキリやサカハチチョウ等や、河川の上流域に多いヘビトンボ等の昆虫類が生息している。</li> <li>・中流から下流域にかけては、クズ、ヨモギ、チガヤ、オギ等の草地に生息するショウリョウバッタ、トノサマバッタ等のバッタ類、ホソハリカメムシ、ツマグロヨコバイ等のカメムシ類、ナナホシテントウムシ、ウスバキトンボ等が多く生息している。</li> </ul>

特定種

学術上の重要性及び希少性の観点から、表2-2に示す選定基準に該当する種を特定種として選定した。表2-3に番匠川の特定種を示す。

表2-2 特定種選定基準

区分	所管 発行者	年度	内容	選定対象 < >内略号	
絶滅のおそれのある 野生動植物の種の保存に関する法律	環境庁	1993	絶滅のおそれのある野生動植物種を指定し、保護、譲渡、輸出入などを規制	国内希少野生動植物種<絶滅> (対象:植物、魚類、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類、昆虫類)	
文化財保護法 文化財保護条例	文化庁 都道府県 市町村	1950	学術上価値の高い動植物、地質鉱物のうち重要なものを天然記念物に指定	国指定天然記念物<国天> 県指定天然記念物<県天> (国指定、都道府県指定、市町村指定)	
自然公園法	環境庁	1964	国立/国定公園の風致の重要な構成要素になっている高山植物その他これに類する植物を指定	国立/国定公園特別地域内指定植物<公園>	
環境庁レッドリスト	無脊椎動物	環境庁	2000	絶滅のおそれのある動植物を、IUCN(国際自然保護連合)が1994年に採択した新カテゴリーにより選定。	絶滅危惧IA類<CR> 絶滅危惧IB類<EN> 絶滅危惧II類<VU> 準絶滅危惧種<NT>、情報不足<DD>
環境庁レッドリスト	哺乳類 鳥類 魚類	環境庁	1998 1998 1999	絶滅のおそれのある動植物を、IUCN(国際自然保護連合)が1994年に採択した新カテゴリーにより選定。	絶滅危惧IA類<CR> 絶滅危惧IB類<EN> 絶滅危惧II類<VU> 準絶滅危惧種<NT>、情報不足<DD>
改訂版 レッドデータブック	爬虫類 両生類 植物( , )	環境庁 (環境省)	2000 2000 2000	1997環境庁レッドリストを基に作成	環境庁レッドリストと同じ
第2回自然環境保全基礎調査 (特定植物群落調査、動物分布調査、 河川調査)	環境庁	1978	学術上重要な群落、保護を必要とする植物群落を選定 学術上重要な種、分布域が限定されている種の分布を調査	特定植物群落<重要> (選定対象:植物)	
自然環境保全基礎調査 (すぐれた自然調査)	環境庁	1973	植物、野生動物等について希少性、固有性、特異性という視点で分布を調査	すぐれた自然調査対象種<自然> (選定対象:植物)	
レッドデータブックおおいた ～大分県の絶滅のおそれのある 野生生物～	大分県	2001	県内の絶滅のおそれのある野生生物をカテゴリー別に選定	絶滅危惧IA類<IA> 絶滅危惧IB類<IB> 絶滅危惧II類<危II> 準絶滅危惧種<準>、情報不足<不足> 地域個体群<地域>	

表2 - 3 ( 1 ) 特 定 種 一 覧

植物

種名等	種の保存法	文化財保護法	環境庁RDB (2000)	大分RDB
アカソ				IB
アソノコギリソウ			VU	準
イソホウキギ				準
ウラギク			VU	危II
オオニガナ			VU	
カセンソウ				危II
カモノハシ				危II
カワヂシャ			NT	準
カンサイタンポポ				IB
キクモ				危II
コアマモ			DD	危II
コイヌガラシ			NT	危II
コギシギシ			VU	危II
コマツカサススキ				危II
ササバモ				危II
サンカクイ				危II
シバナ			VU	IB
セキショウモ				危II
タコノアシ			VU	IB
ハマサジ			VU	危II
ハマボウ				危II
ハママツナ				準
ハンゲショウ				危II
ヒメミクリ			VU	危II
ヒメヤブラン				危II
フクド				準
フサモ				危II
ミゾコウジュ			NT	準

鳥類

種名等	種の保存法	文化財保護法	環境庁RDB (2000)	大分RDB	環境庁自然環境保全基礎調査
カワウ				地域	自然
チュウサギ			NT	準	
コクガン			VU	危II	
ヨシガモ					自然
ミサゴ			NT	準	
オオタカ	絶滅		VU	危II	
ハイタカ			NT	準	
クマタカ	絶滅		EN	IB	自然
ハヤブサ	絶滅		VU	危II	
ホウロクシギ			VU	危II	
コアジサシ			VU	IB	
ヤマセミ					自然
カワセミ					自然
サンショウクイ			VU	危II	

魚類

種名等	種の保存法	文化財保護法	環境庁RDB (2000)	大分RDB
メダカ			VU	
シロウオ			NT	準

表2-3(2)

## 特定種一覧

両生類・爬虫類・哺乳類

種名等	種の保存法	文化財保護法	環境庁RDB(2000)	大分RDB	環境庁自然環境保全基礎調査
アナグマ				準	
イタチ				準	
オオイタサンショウウオ			VU	危II	
カジカガエル					自然
タゴガエル					自然
カヤネズミ				準	
キクガシラコウモリ				準	
クサガメ				地域	
コキクガシラコウモリ			VU	準	
シロマダラ				IA	
スッポン			DD	不足	
トノサマガエル				危II	
ニホンザル			RL	準	
ニホンヒキガエル				準	
ハタネズミ				準	
ホンドジカ				地域	
ムササビ				地域	

底生動物

種名等	種の保存法	文化財保護法	環境庁RDB(2000)	大分RDB
アオサナエ				準
アカツヤドロムシ			NT	
アリアケモドキ				準
カワスナガニ			DD	
カワトンボ			LP	
キイロサナエ				危II
キイロヤマトンボ			VU	IB
ゲンバイトンボ			VU	
ヒガタスナホリムシ			VU	
モノアラガイ			NT	
ヨコミソドロムシ			CR+EN	

陸上昆虫類

種名等	種の保存法	文化財保護法	環境庁RDB(2000)	大分RDB	環境庁自然環境保全基礎調査
ワスレナグモ			NT		
ムカシトンボ					重要, 自然
ダビドサナエ					重要
ウチワヤンマ				準	重要
ハウチワウンカ			NT		
イトアメンボ			VU	危II	
ハルゼミ					重要
ヨコヅナサシガメ					重要
キイロサシガメ					重要
マツモムシ					重要
クチキゴミムシ			VU		
ヤトラカミキリ					重要
オオシロオビゾウムシ					重要
ガムシ					重要
ゲンジボタル					重要, 自然
ピロードハマキ					重要
オオムラサキ			NT	危II	重要, 自然
ヒカゲチョウ					重要
サツマニシキ					重要
ギンモンスズメモドキ					重要
ギンイチモンジセセリ			NT	準	重要
ベニツチカメムシ				準	



## 2 - 3 特徴的な河川景観や文化財等

### 1) 観光・景勝地

番匠川流域は、大分県南部に位置しており、番匠川と周囲の山々が調和して緑豊かな景観美を造り、また豊かな自然環境を有するとともに、良好な水質から清流番匠川として親しまれている。尺間山は日豊海岸国定公園に属しており、東九州の霊場と言われ参拝者も多く、ここからの四国を望む豊後水道は雄大であり、本川上流部には国指定天然記念物の小半鍾乳洞や銚子の滝等の景勝地も存在する。また、下流左岸の城山には佐伯藩祖、毛利高政が築城した佐伯城跡や武家屋敷があり、四季を通じて多くの観光客が訪れます。

表 2 - 4 番匠川流域の観光資源

番号	名称	市・町・村	県
1	長楽寺（薬師如来像）	本匠村	大分県
2	銚子八景・銚子の滝		
3	聖岳洞窟		
4	小半鍾乳洞		
5	ホウライクジャク（シダ植物）		
6	宿善寺のナギ		
7	大水車と小半森林公園キャンプ場		
8	小倉磨崖石塔		
9	八坂神社のハナガガシ林	弥生町	
10	道の駅「やよい」		
11	番匠公園コスモス園		
12	尺間神社		
13	床木ダム		
14	黒沢地蔵尊	直川村	
15	森林公園憩いの森		
16	鉱泉センター直川		
17	グリーンパーク直川		
18	神内釈迦堂石幢	佐伯市	
19	十三重の塔		
20	梅牟礼城跡		
21	白瀉遺跡		
22	五所明神のナギ		
23	佐伯城跡（城山）		
24	佐伯城三ノ丸櫓門		
25	佐伯市総合運動公園		
26	堅田郷八幡社のハナガガシ林		
27	グリーンピア大越		
28	白坪の菖蒲園		
29	茶室「汲心亭」		
30	国木田独歩館（旧坂本邸）		
31	佐伯ゴルフクラブ		
32	平和記念館「やわらぎ」		

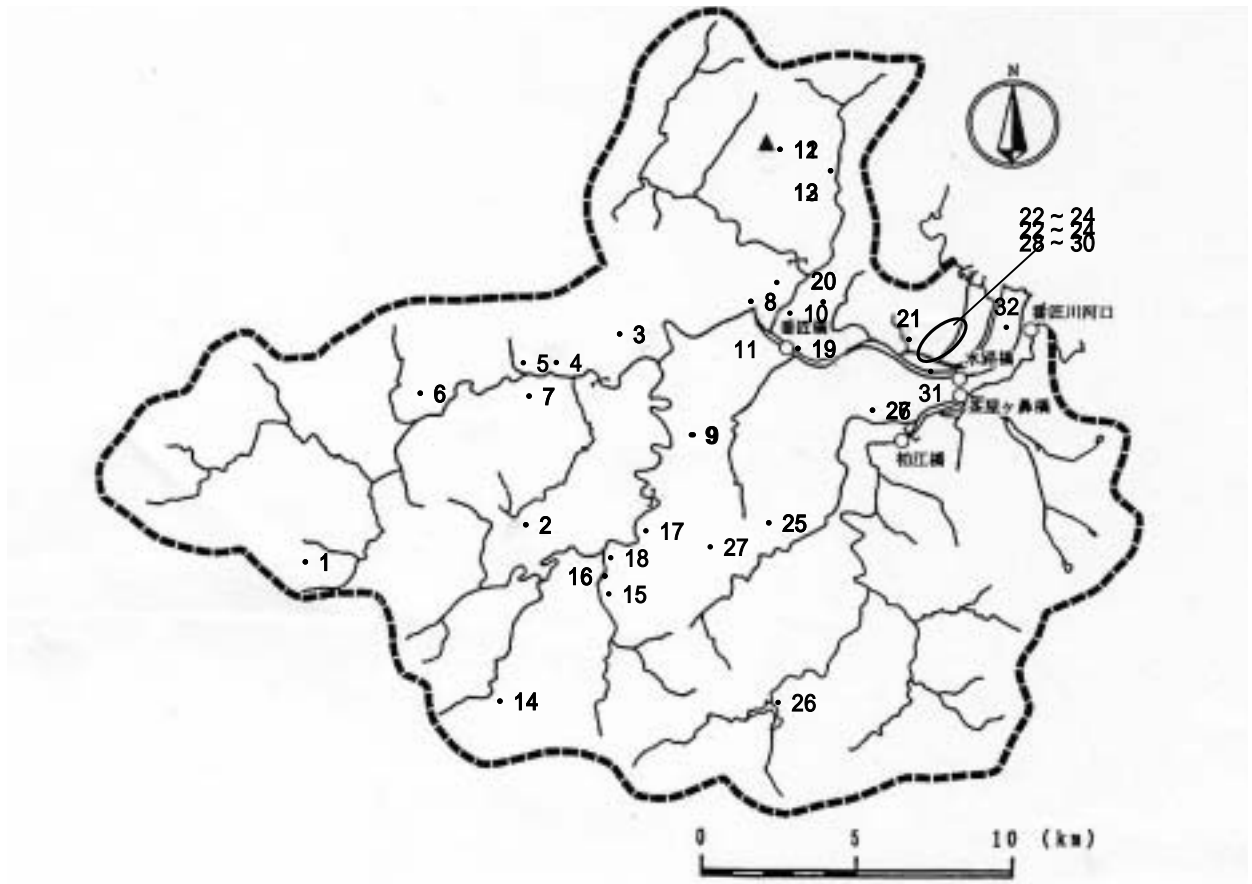


図 2 - 3 観光資源位置図



国木田独歩館（佐伯市）

出典：国木田独歩館パンフレット



佐伯城跡（佐伯市）

出典：さいき



尺間神社（弥生町）

出典：2001 弥生町勢要覧



道の駅「やよい」（弥生町）

出典：佐伯河川国道事務所



銚子の滝（本匠村）

出典：本匠村観光マップHONJO



小半森林公園（本匠村）

出典：2001 本匠村勢要覧



グリーンパーク直川（直川村）

出典：村制 50 周年記念誌直川村村勢要覧



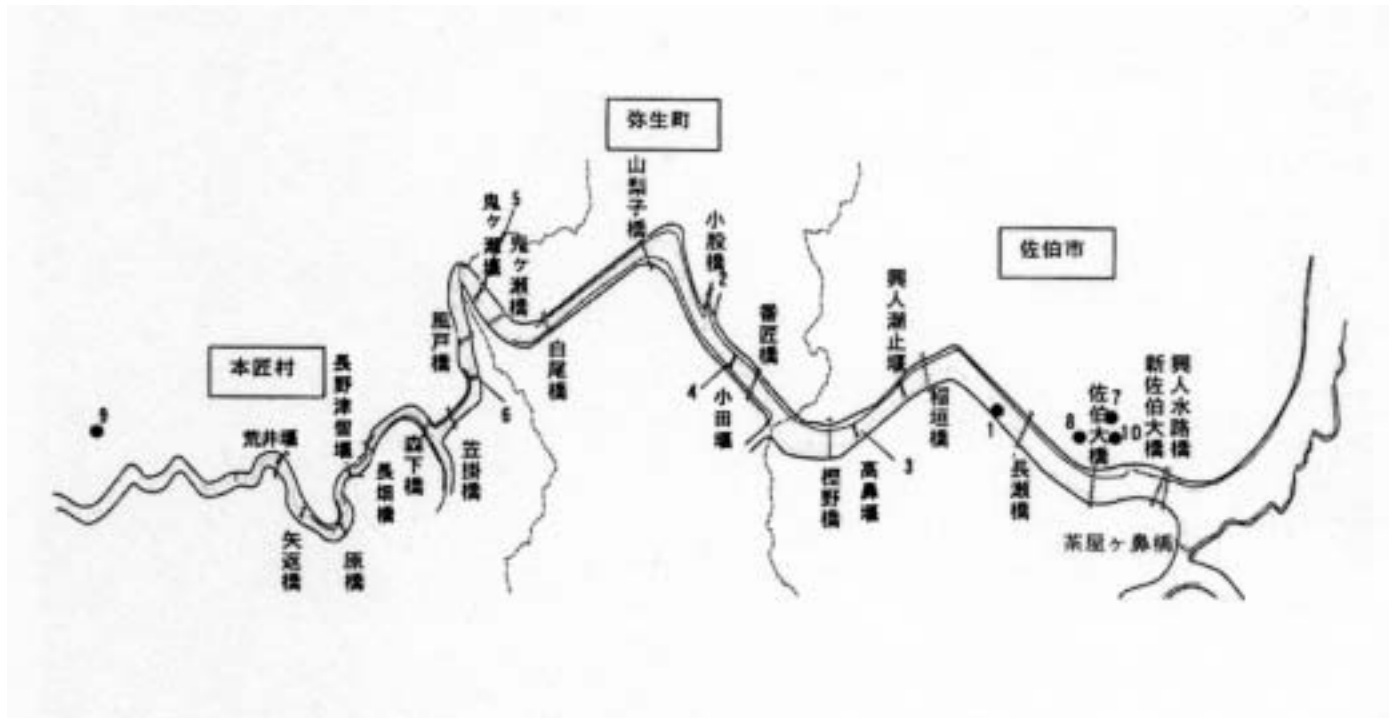
森林公園「憩いの森」（直川村）

表 2 - 5 番匠川に関わる人文的地物及び歴史的記念物

歴史的資源		内 容	歴史性 〔製造年代・ 伝承年代〕	法指定状況 〔文化財 保護法・ 条 例〕	保存 状況	
人 文 的 地 物	河 川 工 作 物	1.池田地区捷水路	高水流量を安全に流下させることを目的とした河道のショートカット	昭和 38 年完成	指定なし	
		2.井崎川捷水路	高水流量を安全に流下させることを目的とした河道のショートカット	昭和 53 年完成	指定なし	
		3.高鼻水路(堰)	佐伯藩政時代の四代井路の一つかんがい水路として佐伯藩の財政をうるおした	安政 3 年	指定なし	機能 だけ 残る
		4.小田水路(堰)	佐伯藩政時代の四代井路の一つかんがい水路として佐伯藩の財政をうるおした	元禄 4 年	指定なし	機能 だけ 残る
		5.鬼ヶ瀬水路(堰)	佐伯藩政時代の四代井路の一つかんがい水路として佐伯藩の財政をうるおした	宝永 3 年	指定なし	機能 だけ 残る
		6.常盤水路(堰)	佐伯藩政時代の四代井路の一つかんがい水路として佐伯藩の財政をうるおした	文政元年	指定なし	機能 だけ 残る
	そ の 他	7.城山 (鶴屋城跡)	築城に際し番匠川本川を外堀とする。	慶長 7 年	指定あり (佐伯市)	
		8.白瀉遺跡	弥生時代の遺跡群の一つ (貝塚と集落跡)	弥生時代	指定有り (大分県)	
		9.聖岳洞穴	わが国で初めて後期石器時代の石器と化石人骨が伴って発見された洞穴	有史以前	指定有り (本匠村)	
歴史的 記念物	10.独歩碑	明治の文豪国木田独歩の碑 (鶴谷学館に教師として赴任)	明治時代	指定有り (佐伯市)		

注)保存状況の 印は伝承されていることを示す。





凡 例

1	池田地区捷水路
2	井崎川捷水路
3	高鼻水路（堰）
4	小田水路（堰）
5	鬼ヶ瀬水路（堰）
6	常磐水路（堰）
7	城山（鶴谷城跡）
8	白瀉遺跡
9	聖岳洞穴
10	独歩碑

図 2 - 4 番匠川に関わる人文的地物及び歴史的記念物

## 2) 文化財

番匠川流域には歴史的に重要な文化財、史跡があり、国指定で2件、県指定では12件の文化財がある。表2-6に国・県指定の文化財を示す。

表2-6(1) 国・県指定の文化財(史跡・名勝・天然記念物)

番号	種別	名称	所在地	指定年月日
1	県史跡	磨崖石塔	弥生町上小倉	昭和28.4.28
2	県史跡	白瀉遺跡	佐伯市鶴望	昭和33.3.25
3	国天然記念物	小半鍾乳洞	本匠村小半	大正11.3.8
4	国天然記念物	堅田郷八幡社のハナガシ林	佐伯市長谷	昭和53.3.11
5	県天然記念物	五所明神のナギ	佐伯市佐伯	昭和36.3.14
6	県天然記念物	洞明寺のナギ	弥生町江良	昭和36.3.14
7	県天然記念物	宿善寺のナギ	本匠村井ノ上	昭和36.3.14
8	県天然記念物	佐伯城山のオオイタサンショウウオ	佐伯市城山	昭和14.3.22
9	県天然記念物	八坂神社のハナガシ林	弥生町江良	昭和49.3.19
10	県天然記念物	城八幡社の自然林	佐伯市長谷	昭和52.3.31

表2-6(2) 国・県指定の文化財(史跡・名勝・天然記念物以外)

番号	種別	名称	所在地	指定年月日
1	県有形文化財	十三重塔	佐伯市上岡	昭和28.3.1
2	県有形文化財	佐伯城三の丸櫓門	佐伯市佐伯	昭和51.3.30
3	県有形文化財	神内釈迦堂石幢	直川村赤木	昭和53.3.31
4	県無形民族文化財	佐伯神楽	佐伯市堅田	昭和41.3.22
5	県無形民族文化財	風流杖踊	弥生町大坂本	昭和41.3.22



図2-5 国・県指定の史跡・名勝・天然記念物位置図



おぐら  
小倉磨崖石塔（弥生町）  
出典：2001 弥生町勢要覧



おながら  
小半鍾乳洞（本匠村）  
出典：本匠村観光マップHONJO



八坂神社のハナカガシ林（弥生町）  
出典：2001 弥生町勢要覧



宿善寺のナギ（本匠村）  
出典：本匠村観光マップHONJO

## 2 - 4 自然公園等の指定状況

番匠川流域は自然環境に恵まれた地域が数多く存在し、表2 - 7に示すように自然公園等が指定されている。

表2 - 7 番匠川流域自然公園の指定状況

種 別	名 称	所 在 地
国 定 公 園	日豊海岸国定公園	大分県
	祖母傾国定公園	大分県
県立自然公園	豊後水道県立自然公園	大分県

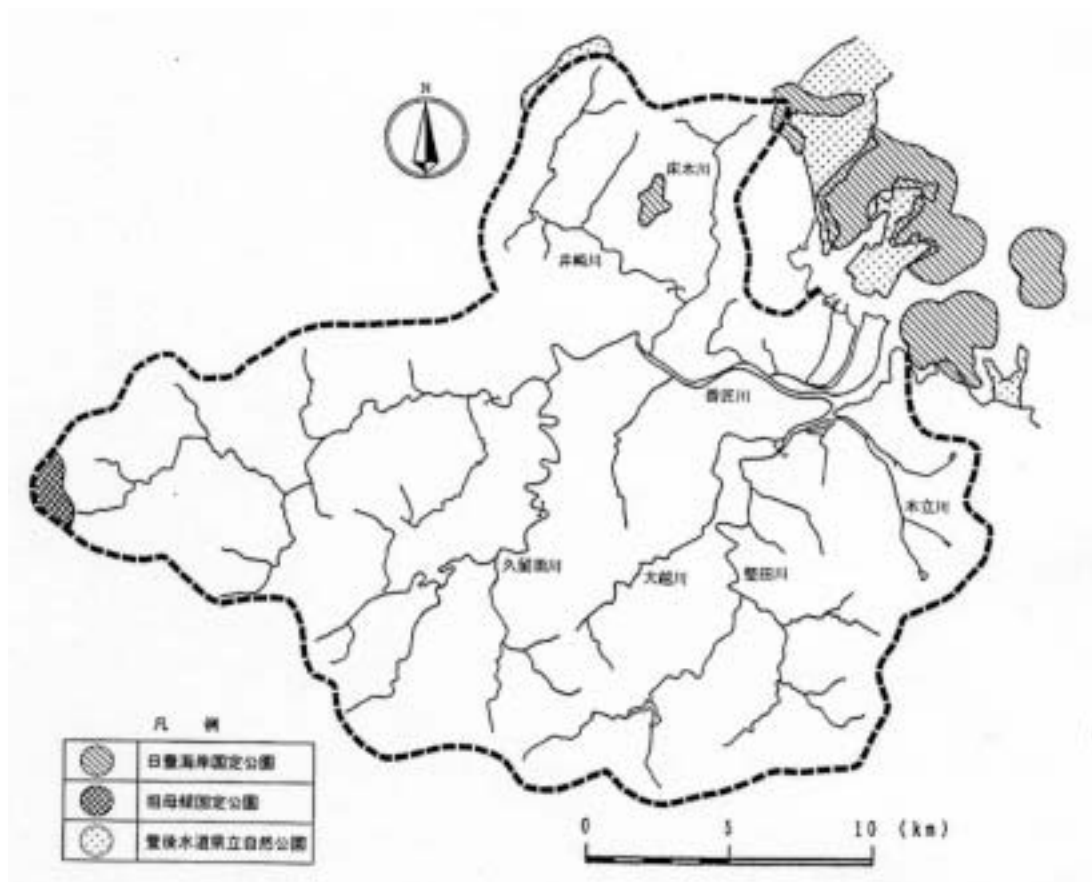


図2 - 6 自然公園位置図